



conductor

Noriyuki Hirakawa

指揮 / 平川 範幸

SIBELIUS

ヤン・シベリウス

Karelia Suite, Op.11

「カレリア」組曲 作品11

Symphony No. 2 in D major, Op.43

交響曲第2番 二長調 作品43

STRAUSS

リヒャルト・シュトラウス

Concerto in D major for Oboe and Small Orchestra

オーボエ協奏曲 二長調

oboe

Kiyohiro Nishizawa

オーボエ / 西沢 澄博 (仙台フィルハーモニー管弦楽団)



© Masafumi Tamura

オーケストラ・ドゥ・センドイ 第21回定期演奏会

2025/1/26 (日) 14:00 開演 (13:00 開場)

日立システムズホール仙台 コンサートホール

宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目27-5 (地下鉄南北線「旭ヶ丘」駅より徒歩3分)

全席自由

前売券

800円

当日券

1,000円

前売券 (当日払い)

WEB予約

<https://x.gd/K9L2D>



■ **フレイガイド** 藤崎 / カワイ仙台 / サンリツ楽器仙台北店 / Keyaki no Mori

■ **問合せ** info@orchestre-de-sendai.jp / TEL.050-5373-3205 (代表)

主催: オーケストラ・ドゥ・センドイ 助成: (公財) 仙台市市民文化事業団 後援: (公財) 宮城県文化振興財団 / 河北新報社 / 朝日新聞仙台総局 / 毎日新聞仙台支局 / 読売新聞東北総局 / 仙台リビング新聞社 / NHK 仙台放送局 / tbc 東北放送 / 仙台放送 / ミヤギテレビ / khb 東日本放送 / Date fm / せんだいタウン情報S-style

●会場には優先席をご用意しております。対象となる方や席の位置については会場にてご案内します。●周りのお客様へのご配慮のため、お子様連れの方は可能な限りドア付近のお席での鑑賞をお願いいたします。●3歳未満のお子様につきましては、入場をお控えいただいております。3歳以上の方はチケットをお求めの上ご入場ください。●携帯電話等のご利用マナーにご協力ください。



指揮

平川 範幸 Noriyuki Hirakawa

福岡県出身。福岡教育大学卒業。上野学園大学研究生<指揮専門>にて下野竜也、大河内雅彦の各氏に師事。桐朋学園大学オープンカレッジにて、黒岩英臣、沼尻竜典の各氏に師事。音楽理論を中原達彦氏に、ピアノを田中美江氏に師事。東京音楽大学特別講座にて、パーヴォ・ヤルヴィの指揮公開マスタークラスを受講。その模様がNHK「クラシック音楽館」にて放送される。新日鉄住金文化財団指揮研究員として、紀尾井シンフォニエッタ東京、東京フィルハーモニー交響楽団の下で活動する。その後東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員として、宮本文昭、飯守泰次郎、矢崎彦太郎の各氏をはじめとする指揮者の下で研鑽を積む。2016年、サントリーホールで開催された「こどもたちのコンサート」特別公演にて、ウィーン・フィルのメンバーと仙台ジュニアオーケストラの合同演奏を指揮する。同年、浜松フィルハーモニー管弦楽団の演奏会にて、ベルリン・フィルのオーボエ奏者、クリストフ・ハルトマンやクラリネット奏者のヴェンツェル・フックス、ホルン奏者のシュテファン・ドゥ・ルヴァル・イェジエンスキーの各氏らと共演する。これまでに、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、大阪交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、仙台フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、九州交響楽団、東京混声合唱団、広島ウインドオーケストラなどを指揮する。2016年度より5年間、仙台ジュニアオーケストラ音楽監督を務める。2024年には大阪交響楽団、九州交響楽団、それぞれの主催コンサートを指揮する。



オーボエ

西沢 澄博 Kiyohiro Nishizawa

青森県弘前市出身。2001年東京文化会館新進音楽家デビューオーディション(ソロ・室内楽の二部門)に合格、同ガラコンサートに出演。2002年東京音楽大学を卒業と同時に仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団。同年、小澤征爾氏とチェロのロストロポーヴィチ氏らと共に「キャラバン2002」のツアーに参加し岩手県内各地で演奏を行う。これまでにオーボエを宮本文昭、安原理喜の両氏に師事。アフィニス夏の音楽祭においてK.クリュス、V.シュトルツェンベルガー各氏の指導を受ける。仙台フィルではソリストとして定期演奏会や特別演奏会などで多くの指揮者と共演をしている。オーケストラ以外では宮城野区文化センター室内楽セレクション「Music from PaToNa」のプランナーを務め、多くの企画に携わると共に公演にも参加している。2023年3月にはオーケストラ入団20年の節目となる自主リサイタルを開催。リサイタルにおける東北・宮城の作曲家に作品を複数委嘱するといった意欲的なプログラミングなどが評価され、令和5年度の宮城県芸術選奨を受賞。宮城学院女子大学音楽科非常勤講師なども務め後進の育成にも取り組んでいる。現在、仙台フィルオーボエ首席奏者を務めている。



© Masafumi Tamura

オーケストラ・ドウ・センダイについて

Orchestre de Sendai(通称: オケセン)は、2004年に発足したアマチュアオーケストラです。現在は仙台市をはじめ、県内各地及び近県からもメンバーが集まり、年に一度の定期演奏会を中心に活動を行っています。オケセンは「参加しやすいオーケストラ」であることを大切にしており、楽器を始めて間もない方や長いブランクを挟んで演奏活動を再開した人にとっても居心地の良い場所であるよう心がけています。そして居心地の良さに甘えることなく、一人一人が自立した「街の音楽家」として、音楽を通じて表現したいことを追求しています。メンバーは老若男女、幅広い年齢層で構成され、またメンバー同士の交流も盛んで、音楽以外の場でもよく集まっており、メンバーの仲の良さはオケセンの魅力であり財産です。



(C) Orchestre de Sendai

団員募集

オケセンは「一期一会」をコンセプトに活動しています。年齢・楽器の経験年数は問いません。わたしたちと一緒に「オーケストラ」の世界を楽しむ仲間を、心よりお待ちしております！

※詳細は、ウェブサイトをご参照ください。 <https://orchestre-de-sendai.jp/>

練習日: 毎週日曜日(18~21時)

対象: 楽器経験者(オーケストラ初心者歓迎)

※オーディションなし

団費: 月ごとの団費はありません。

毎年の演奏会ごとに参加費を徴収します。

問合せ: メールにてお問い合わせください。

練習場: 旭ヶ丘市民センター、青葉区中央市民センターなど



問合せメール